令和3年1月13日 議会運営委員会 議事録
10時00分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 児玉 朋也

副委員長 和田 芳弘

委員 北地 範久、西村 一啓、網谷 芳孝、日域 究

議長 細川 雅子

副議長 寺岡 公章

○欠席委員 なし

○児玉委員長 予定時間になりました。

定足数に達しておりますので、ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

それでは、議事日程にしたがいまして、議事を進めてまいりたいと思います。

日程第1、令和2年請願第3号議事録黒塗りに関する請願への対応についてを議題といたします。

本件は事前に協議資料として、全戸配布用リーフレット案をサイドブックに掲載し、委員の皆様方には事前に一読いただいていることと存じます。なお、本件は議会内部の事項であるため、執行部は出席しておりません。

それでは、協議資料の概要及び今後の予定等について、議長から説明をお願いしたいと思います。

議長。

○細川議長 おはようございます。説明に入る前に、議会運営委員会の皆さんお忙しい中、御苦労さまです。

年が明けて、大竹市内も新型コロナウイルスの感染者がぼちぼちと、市民の皆様も大分気になっているようですが、おかげさまで議会の関係者には、そういった濃厚接触者も出ておりませんが、当分の間やっぱり緊張感を持って、皆様にも御対応をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、令和2年請願第3号への対応についてということで、御説明をいたします。

皆様、御承知のとおり12月17日の本会議におきまして、令和2年請願第3号が採択されました。リーフレット案の1ページにも記載しておりますが、請願文書には2つの請願事項がございました。

1つ目は、陳情書から要望書への変更要請の真意を、市民に説明すること、文書で回答してくださいというものです。

2つ目が、議事録原本全てを公開をして議会基本条例を守り、市民の信頼を取り戻すことというものでした。

この2つの請願事項に基づいて、今回リーフレット案を作成をいたしました。前半の2ページは1つ目の請願事項の内容に応えたものになっています。この中で、真ん中辺の枠

の中ですが、不備によってお返しした陳情書の概要をここに掲載させていただきます。本来は公開すべきものではございませんが、経過を時系列で分かりやすく説明するために必要と考えて、提出者である谷和自治会長に了解をいただいて掲載をしたものです。

後半の2ページは、2つ目の請願事項の内容に答えたものになっています。

本会議の議事録については、リーフレット4ページ目の下段のところに、会議規則に基づいて、議長の発言取り消しを命じた発言を掲載しないことになっています。一昨年の12月定例会最終日に議決いただいた措置によって、既に公開用議事録は一部伏せ字にしたもので製本して、配布、公開をしておりますので、請願によってこれを覆すのは適当でないと考えまして、今回のリーフレットの3ページから4ページに記したように、措置の前後を対照できるような形で、どういう理由でこういう措置したかといった解説も載せまして、市民の皆さんにお知らせするものです。

このリーフレットは、今回の令和2年請願第3号の審査結果が掲載される市議会だより2月号の配布に併せて、全戸配布することを考えております。既に内容については、皆様御一読いただいていることと思いますが、今後、印刷・仕分の工程を考えますと、できるだけ早く内容を確定する必要があります。修正意見等がありましたら、本日の議会運営委員会で十分に協議していただきまして、市民の皆様に分かりやすく説明できるものにしていただきたいと思っております。

以上で、説明は終わります。

○**児玉委員長** ありがとうございます。

初めに、このことに関しては足かけ2年になろうとしております。12月本会議でこの請願が採択されまして、採択後の議会だよりが2月に発行いたします。この請願採択ということと、この請願事項にお答えしますというのがちょうどリンクするのが同じ議会だより、ちょうどリンクすれば2月号に発行するのが市民の皆さんに一番分かるのではないかとということで、まず、この請願事項にお答えしますを2月号の議会だよりに添付をしたいと思っております。中身のほうは後ほど協議したいと思っておりますので、それに御意見はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○**児玉委員長** それでは、中身のほうを精査した上で、市議会だより2月号に併せて全戸配布することとしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

続きまして、全戸配布リーフレット案について、修正意見があれば昨日までに提出していただくようお願いしておりました。順次修正事項があれば発言をお願いしたいと思います。

○**北地委員** 私どもの会派の中で、いろいろ協議をしたんですけども、修正案を提出しました。赤字で入ると思うんですけども、表現とかニュアンスの点でこうしたほうがいいんじゃないかというような話をいたしまして、修正をお願いするものでございます。

赤で囲みが入っておりますけども、最初に3議員というのを明確にするために細川、西村、北地というのをに入れていただくということと、「網掛け部分については事実と違う」というところを「直接話をした当事者として」、という表現を入れていただきたいと

いうところでございます。

それから次のページになりますけども、囲みの中の取り消しの措置についての中で、真ん中辺になりますけども、「取り消しを求めることは考えられます。」というところを、「求めるのは当然のことだと思います。」という表現に変えていただきたいということと、最後になりますけども、大竹市議会規則87条の云々のところでございますけども、その2行目の取り消しを命じたを、「命じた」という部分の「措置をした」と表現を変えていただきたい。それと規則のほうは、最後に括弧書きで入れていただきたいというところで、ニュアンス、表現のところで分かりやすく詳しくしたいということで、修正をお願いしたものでございます。よろしくお願いいたします。

○**児玉委員長** ただいま、北地委員から修正が出たわけなんですけども、今私も聞かせていただいて、内容が変更されるものではないので、皆さん方にはよろしいでしょうか。この部分に関して。また後ほど皆さんに意見聞きたいと思います。

このリーフレットに対して、他に意見ございませんか。

日域委員。

○**日域委員** 私、この請願自体が2つありますよね。説明という部分と公開というのがあるんですが、狭く見れば公開性と書いてあるので、公開すればいいじゃないかという理屈はありますけども、議事録・会議録の公開という請願を受けて、少なくとも言葉の問題ですけども、請願した立場の人も、請願を受けて審議した我々も、会議録そのものを直すという理解でやってきたはずですし、会議録を直さずに伏せた部分だけお知らせしたことによって、正しい処理をしましたよねというのは詭弁のような気がします。

中のことはそれはそれでいろんな問題があるにしても、例えば外部の人間が大竹市のホームページにアクセスして議事録を見たいとか、それから5年後10年後の議員がああとき何やったんだろうと思って見たいとか、いろんなときにまず会議録を見るわけですよ。そこに伏せ字がしてあって、今度もう一個の文書を見たら、その部分だけがカットしてあるわけですよ。パズルみたいに両方を突き合わせてみないとその発言が出てこない、それは大きく見て議会のありようと、それはもちろん大竹市で言えば基本条例とかありますけども、そういうものの精神からして、中身を公表するのであれば会議録を修正すべき、もちろん私も、皆さんとどういう方法があるかねという話をしたことがありますけども、配ってしまったものを回収するのは大変だからどうしようかねとか、それはしょうがないけ、目をつぶって、ある分だけでも直すとか、作り替えたらお金かかるよねとかいろいろしましたけど、せめて議会に残っているものについては、何らかの訂正を加えると、そして、ホームページにあるやつはこれはデジタルデータですから差し替えるということをしてほしいと思います。

細かいことと言えば公開してしまえば、なぜしたかとか、何がどうだって言っても、それはそれで元に戻れば、仮に間違ってたとしてもそれは癒やされるというか、問題はある意味結果的につじつまが合うというかいうことになるんですけど、まずは会議録を直してほしいなと思います。

たくさんありますけど。この前我々は、正副議長と会う機会が先週あったんですけど

も、このリーフレット見て、違和感があったのは最終的に会議録をどうするのかというのがはっきり読み取れないんですよね。だからもしこれを出すにしても、あの会議録は正しい処理をしたものであるから直しませんで書けば、それはある意味違和感を持つ人も持たない人も考え方がはっきりしますけど、片方で示して片方は正しい処理しましたって、物すごいどっちつかずな文章ですね。まず、それが1つ気になります。会議録を直してほしい、私が言いたいのはその1点です。

○児玉委員長 ありがとうございます。

他に意見はございませんか。

網谷委員。

○網谷委員 今、配布されとるというのもあろうかと思いますが、そのようなことで事務上は何と言いますか、複雑な点も生じてまいることかと思しますので、できたらその分に対しては、アスタリスクになつとる議事録にリーフレットを添付して、配るという方法もあるのではないかと私自身思うんですが、その辺のところ、私の意見を発言させていただきました。

○児玉委員長 今の、網谷委員、公開用議事録に添付するということですか。

○網谷委員 今公開されとる議事録のアスタリスクが載つとる部分は、リーフレットを添付して渡すというんですか、発行するというのをしたらどうなのかなと思ひまして。要するに、網掛けの部分を分かればええので、それを分かるような方法を考えていただいたらと思います。

以上です。

○児玉委員長 公開用議事録というのは20部ぐらいあるんですかいね。

20部ぐらいあるんで、それに今の請願事項にお答えしますというのを添付して、置いておくと、そうすると5年たっても10年たっても見に来た人が一応その部分の下に詳しくは添付資料にありますということで、解決したらどうかということですよ。

分かりました。そういう意見もございました。

他の委員で何かいい意見はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○児玉委員長 ないようでしたら、最初に、日域委員がおっしゃられたんで、議事録だけは訂正してほしいというのがありました。それに対して、網谷委員が議事録を修正するまでもなく、添付すれば皆さんに分かるんじゃないかということで、そういう意見が出ました。これは、あとで休憩して、紹介議員に休憩中に話をして、それでいいかということで話をさせてもらわんと、やれここで1名の方が、請願に賛成の議員の方が話されても納得いかないと思います。

このリーフレットについては、あと文言とさっきの訂正ぐらいで、2月の議会だよりに添付してもよろしいですかね、そこについて。

日域委員。

○日域委員 一番大事なところは、会議録の公表だと思つてますから、そこを強調する意味でさっき私の思いを言わせていただきました。でも要するに、公開するということは、削

除したということはある種間違いだったということになるわけですから、最後のページに書いてある理屈がありますね、いろんな法律とかですよ。解説本からの引用の部分がありますけども、正直そこは若干苦しいんですよ、理論展開がね。でも、とはいいいながら、会議録そのものが公開されれば元に戻るわけですから、それで私はいいと思ってますけども、この文書そのものは、これを配ってしまえば会議録と一緒にですけども、文書を公開してしまうと、また、それについても問題が起こる可能性があります。

そもそも、今回のリーフレットで公表はするけども、会議録は直さないというのは、なぜおかしいかという、そもそも議員の発言というのは重いんですよ、この中にも書いてありますけども。それで発言は重くて、それを丁寧に一語一句会議録に残せというルールが決まってるんです、大原則はね。

ただ、そこで誹謗中傷とか個人の私生活に関わることとか、例えば議場でべらべらしゃべり過ぎて、議長に待てと言われますよね、議長は発言停止する権限あると思いますけども、議長が発言停止したのに何言いやがるかと言うて、それからべらべらしゃべった場合に、その部分については、取り消しを命ずることができる、取り消させることができるそんな規定が地方自治法がありますけども、そういう幾ら何でも会議録に残すようなことは、やめたほうがいいよねという部分について、会議録から削除するという流れにいくわけですから、だから公表はしたけども、会議録に載せないというのは、理論矛盾なんですよ。公表するものは全部載せるべきなんですよ。隠すわけじゃないけど、気に入らないからここは消すよというのは矛盾しています。そのところもこの中には含まれています。ただ、今順番から言えば、会議録を公表する、会議録を修正するということは圧倒的に重みのある部分ですから、私はそこを強調しただけです。

もちろんこれを配ること、そのまま配ることは若干問題がありますよということは言っておきたいと思いますが、そんなことよりも会議録の修正をお願いします。そういうことです。

○**児玉委員長** そういう考え方だということ。

他に何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**児玉委員長** ないようなので、ここで委員外の方が発言通告を出されておりますので、委員外発言の通告を許可したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**児玉委員長** 御異議ないようなので、最初に山崎議員から発言通告が出ておりますので、山崎議員。

○**山崎議員** 委員外の発言を認めていただきまして、ありがとうございます。

今回のリーフレットの配布ということですが、私は基本的にこんなものは議会だよりに入れて一緒に配るということは、市民に対しての挑戦だと、なぜなら五百数名にのぼる人たちは、署名をして請願を出されたわけですよ。それに対しての回答というのは誤解ですよということでの片づけになつてくるわけですよ。少なくとも谷和地区の住民の皆さんは、しっかりと自分たちで問題を受け止めて、これではいけんよねということでわざ

わざと市民の皆さんの署名、捺印まで取って議会で提出されたわけです。それをこの文章を配ることによって、市民への挑戦をするようなもんだと、決して谷和地区の住民の皆さんや五百数名の請願者の趣旨を酌み取った文書になってないわけでありませぬ。

請願者の趣旨というのは、あくまでも議事録を元に返してほしい、しかも議会基本条例にのっとなって市民の信頼を取り戻してほしい。

もう一つは、陳情書から要望書に変えてくれと言ったことについて、説明をしなさいよというのが請願者の請願の趣旨であります。この文書でいくと、市民の皆さんあなた方の誤解ですよということにしかになってないわけですね。しっかりとした市民の皆さんが納得できる説明になってない。私はそういった意味においては、これはあまりにも市民をばかにした文書だと思います。もっと市民の気持ちをしっかりと酌み取って、寄り添った回答を出していくという必要があると思うんであります。今回の議事録削除については、12月17日に賛成討論がありました。その中で、事の発端になった西村議員が寺岡副議長に要請をした文章というのは、討論の中で言われたことは、この12月17日の西村議員の発言にあります。請願書に書いてある去年の12月議会で、議事録の発言の中で、一部発言の部分に間違いがあるので、取り消しを当時の議長を務められた寺岡副議長に申し上げました。僅か6文字です。せんだっての委員会でもそのことは申し上げました。せんだっての委員会というのは12月9日の議会運営委員会です。このときも西村委員は確かに6文字訂正を求めたとおっしゃいました。

しかし、議事録は、273文字削除されとるんであります。誰がこんなことをしたの。提案者の西村議員は6文字しか訂正を求めなかった。しかし、実際には273文字削除されとる。寺岡副議長が削除したのか細川議長が削除したのか。結局、議長ないし副議長ないしが、議会をどんどん混乱させていきよる。問題を大きくすることで、1年数か月、足かけ2年と先ほどおっしゃいましたが、そういう問題を引きずってきとる。

私は、本来議事をまとめて粛々と市民の役立つ議会につくり上げていくというのが議長の役割だと思います。この1年間ずっと見てくると、次から次へと問題を引き出して、議事を混乱させ、議員の皆さんを混乱させながら1年間やってこられた。最初から言えば細川議長が西村総務文教委員長なり、北地生活環境委員長を誘って谷和地区に行かれたことが発端でありますよ。この谷和地区に行かれたことの中で引き起こった問題であります。谷和地区の住民の皆さんにしっかりと行って説明をするなり、話し合うなりすれば問題解決したかも分かりませぬ。

私たちに議長や両常任委員長に要望にしてくれという発言をしたとことを、あんたら確認をしたかという話がありました。我々がするんじゃないで、少なくとも当事者である議長たちこそが、谷和地区の住民に会いに行って、我々の真意はこうだったんだと、その理解してもらえんかという話合いをするべきだったんだ。そのことを、しないで確認しなかった我々が悪かったようなことを言います。確かに当事者です。当事者が言っていないという、だから言っていないんだ、しかし、谷和地区の住民は言われたと言うわけでありませぬ。しかも言われた人たちは、陳情書や請願書にして市民の賛同まで受けて議会に出しとるんです。この重さをしっかりと議員として、我々は受け止める必要がある。言

ってないと言われても、言われた本人たちは陳情書や請願書にして賛同者まで集めて議会に訴えておるんであります。そこのところをやっぱりしっかりと我々としては、真剣に住民に寄り添った勉強なり研究なりをしながら、解決に向かっていく必要があると思います。

論点や争点があるいは見解が違っている場合は、陳情者や請願者の、全文を載せるべきです。要点だけ絞って載せて、結局請願者や陳情者の思いが伝わらないような載せ方をしてはまずい。論点と焦点が違っているわけでありますから、きちっとそこのところは全文を載せることで市民の判断を仰ぐ、事の是非を決めるのは市民であります。こんなことをやれば、また、引き続いて半年なり1年間なり、この問題で議論をしないといけんようになる。恐らく請願者の皆さんもこのまま引き下がることはないと思います。なぜならあんたらが誤解したんやと、あんたらが勝手にやったんやということになると、賛同者である五百数名の皆さんを裏切ったことに、谷和地区の住民はなります。そんなことをさせてはいけんですよ我々は。相手は市民じゃないですか、しっかりと市民の皆さんの意向に沿う処理の仕方をしたい。あれが悪いこれが悪い言うのってたんじゃあ、ええことにはならんと思うんです。収束に向けた取り組みをしましょうよ。こんなことをしたら最終的には法廷の場に行かざる得んじゃないですか。市民に訴えて、市民の判断を仰ぐしかないじゃないですか。そんなことしちゃいけんですよ。解決に向けた努力をしましょうよ、皆さんで。陳情者も請願者も納得できる、議会としても仕方ないよねという程度に納得できるそういう解決の仕方をしてないと、このまま議会の判断でもって進んでいけば、必ず後に残るし、解決に向けた動きにはならないと思います。ぜひ、議会の皆さんの賢明なる判断をいただいて、解決に向けた努力をしてほしい。住民を追い詰めるような形での解決は決して解決にはなりません。こういったことをぜひ皆さんにお願いしたい。1年間やってきたじゃないですか、もう私も疲れしました。これ以上続けることについては非常に労力が要ります。ぜひ、反対派も賛成派もない議会として、住民の意見を聞きながら最大限譲歩できるところをしながらそして解決をしていく、それから議事録の削除の問題については、決して認めるわけにはいきませんので、禍根を残さないように解決をしていただくための努力をお願いしたいということを申し上げまして、勝手にたくさん申し上げましたが、よろしくお願ひいたします。

以上です、失礼しました。

○**児玉委員長** ありがとうございます。

山崎委員の考え方を伺いました。

日域委員。

○**日域委員** 私さっきの委員長の言葉も、今の山崎議員の言葉も間違いがあったんで、これ足かけ3年です。それとついでに一言言わせてほしいんですけども、先週議長とお話ししたときの話の中なんですけども、請願文書表の全文がないと我々が言ったら議長は議会だよりに全文が出るからそれに合わせてこのリーフレットを配るんだと言われましたけど、議会だよりのほうも要約なんですよね。その辺は細かい話ですけども、一応指摘をしておきたいと思います。

以上です。

○**児玉委員長** 山崎議員に続きまして、山本議員からも委員外発言が出ておりますので、許可をしてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**児玉委員長** 山本議員。

つらいようでしたら、座ってでもよろしいですよ。

○**山本議員** すみませんね、貴重な時間をいただきましてありがとうございます。

ちょうど、私今ね腰椎の圧迫骨折で腰を痛めておるんです。

委員長の許可を得ましたんで、座ったままで発言をさせていただきます。よろしくお願ひします。

最初に委員長にお尋ねするんですが、12月定例会の最終日に委員長報告については請願採択という議会運営委員会の皆さんの合意の上で報告がされましたよね。そのことについては私を含めて、反対という異論はなかったのよね。全員一致で請願採択ということになったわけですが、その際の委員長の本会議での報告は大事な点では2つあったと思うんですが、これは確認のために委員長の方から回答もraitたいんですが。

1つ目は、原本を公開するということと、2つ目には、現在私なりの言い方で言えば改ざん議事録は回収すると、こういうことが委員長報告の中で述べられておると思ひますが、その際私は私なりの思いがあつて、委員長報告に対する委員長への質問をさせてもらいましたが、それはさておいて、今申し上げた基本的な2点については、これは私の理解でよろしいですか。

○**児玉委員長** 委員長報告の中では、市民の皆様に分かりやすい説明文をつけるのであれば、昨年12月定例会の会議録の原本を公開しても構わないというような意見が出たということは言っております。議事録回収ということは言っておりません。以上です。

○**山本議員** ということは、原本の公開ということも言っていない。

○**児玉委員長** 委員会の中で12月定例会会議録の原本を、市民の皆さんに分かりやすい説明文をつけるのであれば、公開しても構わないという意見があつたと言っております。

○**山本議員** それはどういうことを意味するのかよく分からんね。

私の理解は、委員長報告は先ほど申し上げたようなことで原本をまず公開すべきだと、それから既に配布した改ざん議事録については、回収するということが基本的な報告の内容だったと理解をしたんですがそうじゃない。

○**児玉委員長** それは、互いの考え方が違ひまして、委員会の中でこういう説明文をつけるのであれば、このリーフレットにあるように原本も公開もしますよ、全部アスタリスクを外したものを市民の皆さんに配布しますよといった意味で、委員の方が答えられたものであろうと思ひます。回収するとは一言も言っておりません。

○**山本議員** それはまだ議事録が文書になってないから、私も確認の方法がないんですが私の記憶理解の範囲に質問をさせていただくと。

○**児玉委員長** 回収するとは言っておりません。

○**山本議員** それはそれとして、本題に入らせてもらいます。

それで、今議長が提案された文書を私もここに持つておるんですが、順を追つて私なり

の意見を述べたいと思うんですが、2ページ目に9月18日、「太陽光発電所建設するべきでない」と決議してほしい」との陳情書が提出され、受理しました。という見出しの上に、ありますよね。これは9月15日、細川、西村、北地議員が谷和に伺いました。という文章があって、その枠の中の最後の行の2行目ですね。15日は公務ではありませんでしたし、音声記録などはございません。しかし、「要望を書いてください」を「要望書を出してください」と聞き違い、誤解された可能性は否定できないと思います。意思疎通の難しさを痛感しています。という文章になっておりますね。このことをまず頭入れといってもらって。

それからその下の12月17日、議長不信任決議案が提出されましたという小見出しの中頃に、この議長不信任決議案は否決されたのですが、「提案理由の説明および討論のなかで谷和地区の陳情に関して事実と異なる不穏当な発言があった」ので議長に発言の取り消しを命ずる要求が出され、「後日記録を確認のうえ、措置することとする」ことが議決されました。こういう文章が2ページ目にあります。それから、3ページ目に日域議員の発言、措置前、措置後の中間に解説というのがあるって、ここで谷和に行き当該発言をしたと指摘された3議員に9月15日の発言について確認したところ、網掛け部分については事実と違うと3議員とも、同様に主張しています。

一方、「言った」と主張している議員の発言は伝聞です。と、ここが大事なところやね、伝聞だと。15日当日の音声記録はないので事実の確認ができませんでした。事実確認ができない以上、掲載するのは困難だと判断しました。これ以降の発言については全て同じ判断です。と、こういうふうに述べられてるんですね。

それで最後のページですが、議会での発言の訂正や取り消しの処理についてという枠の中の下から6行目に、発言の取り消しに関する内容として、議長権限で訂正できることになっている事柄は、「他人の私生活にわたる発言、誤解した発言、感情的な発言等一切の不適切な発言をいう」とあります。そういうことについては議長権限で議事録から抹消できる、取り消しができるという解説になっておりますよね。そこで私の意見を述べたいんですが、この議事録の改ざんというのは、議長権限でできるということについては正副議長の間、あるいは議会運営委員会等の機関で、こういう訂正をした、原本と違う議事録を別に印刷をして配布用を作成するというのを議論をされたことはあるんですね、そういうことはなしに言わばここで言われておるように議長権限でそういうことをしなくてもやれるんだと、こういうことになる。そこには疑問があるわね。議会の大事な問題ですから。議長権限があるとしても、正副議長の間あるいは議会運営委員会等の機関で原本とは違うけれども、こういう不穏当発言があったとか、事実誤認の発言があったから取り消しをした上で、いわゆる別の議事録を作って配布することにしたいと。配布手数料は小額といえども市民の税金を使つてのことですから幾らかかかっているわけやね。

ですから議長権限といえども、それを執行するにあたっては市民の税金を使わないといかんし、議会のマナー運営上も一定の機関での議論を経た上でおやりになるというのが筋じゃないかと私は思うんですが、そういうことがあったんですか、なかったんですか。

それで、2ページ目に寺岡副議長が議長を務められた際に、西村議員の発言を受けて

「後日記録を確認の上、措置することとする」ことが議決されたとなつとるんやね。このことも2ページ目に下段に、12月17日議長不信任決議案が提出されましたという小見出しの中頃の行にそういうふうには寺岡議長が「後日記録を確認の上、措置することとする」と発言をされて、このことが議会では異議なしで認められたからいいんだということとして、ここに記載をされてると思うんですが、「後日記録を確認の上、措置することとする」ことが議決されたというのは、西村議員の発言だけは確認したが、西村議員が不当な発言だということで取り消しを求めた、私を含めて3議員が、発言については、全然問い合わせもないし、事実誤認なのか、事実確認をするということもされておらんのかな。あくまで伝聞だと、伝え聞いたことを言いよるだけで公式に記録を取る場もなかったのに、一方的にそういうことを言いよるんだというものとして片づけられてきたと私は見てるんですが、それは双方の言い分を聞いて公平な判断をするということを含めての、これは当日の寺岡副議長の発言の意図だと私は理解したからその場では異論も何も述べていないんですが、順当な本当の措置としては双方の発言を、その記録の根拠を確かめた上で措置するのが、私としてはこれが公平なやり方じゃないかと思ってるんですね。そうじゃないですかね。

それから最後に、議会での発言の訂正や取消しについてはさっき触れましたが、枠の中の他人の私生活にわたる発言、誤解した発言、感情的な発言等一切の不適切な発言を取り消すことができる、これは議長権限で当然のことだと説明されとるんです。そうすると谷和地区の皆さんの2回目の陳情から請願、これは全て誤解した発言ということになる。そうであれば、その誤解を地元の皆さんとの対話を深めながら誤解を解くという努力をなせしないのかと、それはやった記録はないじゃないですか。

それで私が最後に言いたいのは、今年の2月26日ですかね、総務文教委員会が谷和地区に赴いて、地元の皆さんとの意見交換なり、また、改めてメガソーラー事業に関する地元の皆さんの心配される事柄についてのさらなる対策を求める要望なり、いろいろ聞く機会を持ちましたよね。

そのときに私はあえて、議会内で今こういうふうには、言うた言わんやのことでいろいろ議論があるんですけど、しかし、いつまでもこういうことは続けとったんじゃ議会の品位にも関わるし、地元の皆さんへの不信を買うようなことにもなるから、こういう場できちっとした誤解があればあつたで、双方が理解するようにしたいという思いであえて発言をさせてもらうんですがという断りをした上で、西村議員の発言の中に陳情じゃなしに要望書にしてくれとか、陳情の内容が絶対反対じゃいけん、厳し過ぎるからそういう表現を変えてくれとかということが、細川議長、北地議員、西村議員が谷和地区へ行かれたときに、そういうことがあつたと言われるから、我々はそのことを議会でも問題にしたんじやが、一方ではそんなことを言っていないという、この問題をめぐって今議会内ではごたごたしてるんですけど、だからそこんところはどうかとこの際、総務文教委員の皆さんもおられるし、傍聴に来られた議員もおられるんで、改めてそこんところを聞かせてくださいと言うて、あえて私は地元の皆さんに対する質問をさせてもらうたん。そのときには委員長もおられましたしね、そのときの地元の皆さんの説明やら、発言

は、いや我々が勝手にそんなこと言いよるんじゃないしに、そういうふうに言われたんだと、こういうふうにおっしゃいましたよね。総務文教委員の皆さんも傍聴された皆さんも今記憶にあると思う。もし記憶がないのなら、幸い当日、事務局長が委員長の前に録音機を置いて、それをテープに取ったものがあるんです。そのテープを起こして公開すれば、単なる感情とか、単なる誤解とかいうことにはならない、客観的なこれは物証じゃ思うんですよね。そういうことは全然ここでは触れられておらん。ですから私は、あんたらが言うことは、感情論じゃし、あくまで伝聞で公式な記録は残っちゃおらんじゃないかと。こう言うて片づけて、一方のそうじゃなかったんじゃが、わしらこういうことを言うてはおらんのじゃと主張される側のは、全てそれが正当化されると、こういうのがこの文書の基本をなしてるもんだと言えませんか。これじゃあ議会の運営上も、議会が市民に対して事実に基づいて対処すべき対応を弱めてみたり、薄めてみたりすることになりやあしませんか。だから私はもう一度そこんところを誤解だとおっしゃるなら、誤解を解くような努力をしようじゃないですか。そのことをしないであんたらが言うようなことはあくまで伝聞じゃし、あくまで感情論で誤解にすぎないと片づけて、そうでない件についてはもっともじゃ、そうじゃそうじゃというふうにやるということは、これは本当に公平な客観的で事実に基づく判断を誤ることになりやあしませんか。

だから、いまだに谷和地区の人は、私らの言うことは全然聞いてもらえないんじゃないかと、そういう理解でない、我々の意見も聞いてみたり、そういうことじゃったかとわしら誤解しとったかというふうになん得できるような道筋をつけるように、私は委員長をはじめ正副議長、お願いしたいんですがね。

ですから、ここに記載されているこのことを正当かと言うたら語弊になるか知らんが、この文書を全市民に配ってよ、市民の理解を得るようにするんだということは、私は議会として取るべきことにはならんと、また、すべきでもない。誤解の上塗りみたいなことになって、さらなる不信を与えることになるばっかりで、議会内もそのことをめぐってまた議会のたびにああじゃらこうじゃら言うてお互いの不信を募らせる、市民からは信頼を失うようなことをいつまで続けるのかということになるんじゃないかと思うよね。

ですから、私はもうこの文書そのものをどこで誰が書かれたか知らんが、もう一度先ほどから言うように、誤解があるなら誤解を解く、感情論で受け止めたという部分があるんなら、それも解消するという努力をまずやった上で、市民に対する事実に基づく根拠のある情報提供、議会としての品位ある市民への説明文書にすべきだということを申し上げて、私の意見とさせてもらおうし、お願いさせていただきます。長時間ありがとうございました。

○児玉委員長 元の席にお帰り下さい。

それでは、委員外発言のほうも終了いたしました。いろいろな意見を聞かせていただきました。見解の相違、互いの考え方が違うというもので、委員の中にはこれでこの文章で出したらどうかという方もおられれば、もう少し丁寧という方もおられますので、なるべく起立をして採決するようなことはしたくありませんので、ここで30分ほど休憩を取りたいと思います。

○和田委員 少しいいですか。

○児玉委員長 はい、どうぞ。

○和田委員 今、山本議員がいろいろおっしゃりましたが、そもそもこの問題が起きたのは今のくろがねの広報ですか、この部分で今の谷和地区の陳情に対して、細川議長、西村議員、北地議員が行って陳情書を要望書に変えてくれとかいろいろ言うたらしいと、そういうことは暴挙じゃないかというてくろがね新聞で大々的に配ったわけですよ。それがそもそもその問題点であったと私は思います。

そのときに今のくろがねが新聞を出すときに、今、山本議員じゃないですけど細川議長、北地議員、西村議員にそういう発言をしたのかと確認取って新聞を出したらいいんですよ。確認取らんと、もうそうやって新聞に全市民にくろがねが配った、それが一番私は問題だと思うんですよ。後からの話では、実際に細川議長も西村議員も北地議員もそういうことは一切言ってませんと。3人は名誉毀損で、大々的に新聞で出されたら。私これ一番問題だと思うんですよ。根本的にそこが始まりだったんだと自分なりに解釈したんですね。それに対して、西村議員たちは弁明をしたわけ、実際言ってませんと。それがごちゃごちゃしだしたと思うんですよ。そこを皆さんもう一回考えてください。

○児玉委員長 新聞じゃなしに会派の広報ですよ。

いろいろ調整してみたいと思いますので。

日域委員。

○日域委員 これはね、言い始めたら切りがないんですけども、我々が議会で発言したことが事実に基づかないと言われたこと自体も逆に名誉毀損ですからね。爆笑問題の名誉毀損の話がこの間裁判出てましたけども、事実というか事実だと信じるに値するということが条件ですからね。事実かどうかと言ったら何も言えないから、事実と信じると値する情報があつてしゃべること。

それとそのことが公益にプラスすること、だから関係ないことを言ったらいけんわけですよ。事実であっても、信じるに値することがあつて、そのことで公益に影響を与えらと思ったときにはしゃべっても許されるわけですよ。私、別に爆笑問題のファンじゃないですけども、だからそれは立場によって違いますから、おっしゃることは分かります。分かりますけども立場が違えばなんでそんなこと言うんだとこっちの立場がありますから、それはあいこですよ、そこはね。

○児玉委員長 委員外の方もはじめとして、これ言った言わないというような問題から先に始まるとるんだらうと思うんで、いろんなところで勘違いとか、だんだん物事も大きくなってきてるんで、先ほど言いましたけど、30分ほど調整していただいて、2月の議会だよりはこれを出したいと思いますので、この辺で終わりたいと思います、委員長として。それなので30分ほど休憩して調整取りたいと思いますので、紹介議員の方と話したいと思いますんで、暫時休憩いたします。

11時06分 休憩

12時01分 再開

○児玉委員長 それでは休憩前に引き続き、会議を再開したいと思います。

休憩の間に皆さんとお話をさせていただきました、このリーフレットについては先ほども言いましたように2月の議会だより配布するというので、若干内容が変わります。1ページ、2ページは削除して3、4ページだけを配布の対象といたします。冒頭に請願事項にお答えしますということであと丁寧な説明を3ページ、4ページということにさせてもらうということで決着がつかしましたんで。

それと公開用の議事録の後ろには、今の全戸配布用リーフレットの3ページ、4ページを載せるということで協議いたしました。御確認で間違いはなかったでしょうか。

日域委員。

○日域委員 さっきの北地委員の案があったじゃないですか、あれは無視ですか、あれは採用。

○児玉委員長 発言の取り消しを求める「ことは考えられます。」ということ「当然のことだと思えます。」に訂正する部分ですね。

日域委員。

○日域委員 文言の修正ですけど。

○児玉委員長 文言なんで、内容としてはそんなに違ってないと思うんですけど。

日域委員。

○日域委員 あれは3、4ページにありますよね。

○児玉委員長 あります。「ことは考えられます。」を「当然のことと思えます。」に修正すること。

大した違いはないと思うんですけど。

これは委員長の判断ということで一任させていただきたいと思えます。

それぐらいでよろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

議会運営委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

12時03分 閉会